

## 日光御成道の歴史

- 1400年代** 水田灌溉によって、江戸城と岩付(岩槻)城を結ぶ道路として整備される(岩槻街道の誕生)
- 天正18年(1590)** 阿部正勝が徳川家康から鳩ヶ谷の地五千石の知行を受ける
- 慶長5年(1620)** 家康が金津(上杉景勝)討伐に向かう
- 慶長8年(1623)** 家康が征夷大将軍となり、江戸幕府を樹立
- 元和2年(1616)** 家康没  
鳩ヶ谷が幕府直轄となり代官・伊奈氏の支配に
- 元和3年(1617)** 奥平大権現を久保山から日光山へ遷座し、奥平社成立  
日光御成道が整備されはじめる  
4月、將軍徳川秀忠が日光道中経由で家康の祀られる日光に社参を行う
- 元和8年(1622)** 4月、秀忠が社参を行う
- 寛永2年(1625)** 7月、將軍家光が社参を行う
- 寛永5年(1628)** 4月、大御所秀忠が社参を行う
- 寛永5年(1628)** 4月、家光が社参を行う  
江戸を中心とした約5里(約20km)四方を將軍家専用の御成道とする
- 寛永6年(1629)** 4月、家光が社参を行う
- 寛永8年(1632)** 4月、家光が社参(屋敷により選擇)
- 寛永10年(1633)** 將軍家御車馬の外創を、徳川御三家に与える
- 寛永11年(1634)** 9月、家光が社参を行う
- 寛永13年(1636)** 4月、家光が社参を行う  
鳩ヶ谷宿がでさ、本陣が置られる  
東照社を建て替え、日光東照宮が完成する
- 寛永17年(1640)** 4月、家光が日光御成道経由で社参を行う  
このときから鶴杖寺で量食を取るようになる
- 寛永19年(1642)** 4月、家光が社参を行う
- 慶安元年(1644)** 4月、家光が社参を行う
- 慶安2年(1649)** 4月、大納言徳川家綱が社参を行う
- 承応年間(1652～1654)** 榎木や苗木の栽培を安行の吉田権之丞が始める
- 明暦3年(1657)** 江戸大火によって焼野原となった江戸へ、榎木や草花を供給して以来発展
- 寛永3年(1626)** 4月、將軍徳川家康が社参を行う
- 享保年間(1715～1735)** 井沢弥兵衛により見沼田圃が造成される。見沼代用水開削によって沼澤・陸上交通が整備される
- 享保13年(1738)** 4月、將軍徳川吉宗が社参を行う
- 安永4年(1773)** 社参に備えて沿道の跡舎が行われる
- 安永5年(1776)** 4月、將軍徳川家治が社参を行う
- 天明14年(1824)** 4月、將軍徳川家慶が社参を行う
- 慶応3年(1827)** 將軍徳川慶喜が大東幸徳を上奏
- 慶応4年(1828)** 明治政府樹立
- 昭和3年(1928)** 新荒川大橋が完成
- 昭和35年(1960)** 御成道の現川口市内区間が国道122号線となる



### 11 一里塚ポケットパーク

いぢりつちがほけつとほく＝戸塚 4-20

**江戸から6番目の一里塚**  
かつて一里塚が設けられていた交差点の角が整備され、「一里塚ポケットパーク」として整備されている。日光御成道6番目の一里塚。片隅にはひっそりと馬頭観音が祀られている。

### 16 地蔵院

じぞういん＝程町 5-5-39

**鎌倉時代中期の文化財も所有**  
本寺は地蔵菩薩、鎌倉時代中期の作とされる木造不動明王立像(埼玉指定有形文化財)を所蔵している。境内には建暦600年と推定されるクスノキ科の大木「タブノキ」や不二道の開削、小倉三郎の墓がある。山門に入るると右手に息隠地蔵も祀られている。また、入り口には道標が立っている。

### 17 市神社

いちのみしや＝鳩ヶ谷本町 2-2-2

**市の祭神を祀るやしろ**  
鳩ヶ谷宿のほぼぼ中頃、御成道面に祀られていた。8代將軍徳川吉宗の時代、見沼運船場が開削され、舟運が盛んとなり、物資の流通が盛んになるにつれて、市が賑わうようになった。やがて毎月3日の日が賑わいと定められ、「三八市(さんぱちいち)」と呼ばれるようになった。

### 15 真光寺

まっこうじ＝里 1306

**現存する鳩ヶ谷本陣建築**  
本寺は戦国年代。本堂はかつて鳩ヶ谷宿の本陣をつとめていた舟戸家の家屋を昭和初期に移築したもの。各所に修繕の跡が見られるもの、江戸時代の建築として、貴重である。

### 9 旧田中家住宅

きゅうたなかけしやうたく＝末広 1-7-2

**大正時代の本格的洋風住宅**  
味噌の醸造業と材木商で財を成した田中重兵衛家。大正12年(1923)に建築した洋館と昭和9年(1934)に増築された和館から構成されている。国登録有形文化財に指定され、現在は市の施設として公開・活用されている。

### 1 旧川口宿本陣表門

きゆうかうぐちしゆくちゆうほんじんのおちどもん＝本町 1-6

**かつての町の中心、今はひっそりと**  
代々川口宿の本陣をつとめた永澤家の門として現存する。川口宿の主要な業務は江戸と鳩ヶ谷宿への人馬継送で、常に馬俵と歩行袋(人足袋)の用意が必要とされた。今は奥まった場所にあるが、当時は御成道に面していた。

### 12 諏訪神社

すわじんじや＝東川口 1-10

**台地の縁の御休所**  
一本木町会合の裏にある神社。かつては延壽院という寺と一体になっており、將軍社参の際の御休所に指定されていた。境内の大門前まで間もないに休憩に使われたのは、台地の縁にあり、当時ほぼと景色がよかつたからだった。

### 10 真乗院

まんなりいん＝石神 1253

**樹齢800年のコウヤマキも**  
本寺は不動明王。本堂の前に立つコウヤマキは、川口市指定天然記念物に指定されている。樹齢は800年とされている。境内の観音堂には関度、尊衣婆が安置されている。享保13年(1738)、將軍吉宗社参の際には小休所となった。

### 8 法性寺

ほうしやうじ＝程町 1-11-51

**市民に愛される「ふるさとの森」**  
もとは太田道灌の創立した天台宗寺院。粟積神前が鳩ヶ谷の人々の安しみを救うために明治7年(1898)に創設したと言われる。本寺は釈迦牟尼仏。山門は足利時代末期の作。境内は湧水に富む静寂な名園。境内全てが埼玉「ふるさとの森」に指定されている。

### 6 鳩ヶ谷氷川神社

はつがやひかわみんじや＝鳩ヶ谷本町 1-6-2

**家康が境内で休憩した**  
応永元年(1394)に創建されたといわれる。1600年、徳川家康が奥州出陣の途中、境内で休憩したという由緒ある神社。貴重な子連れ狛犬がある。境内には数多くの神様と、戦後慰霊碑が祀られている。

### 4 葉林寺

やくりんじ＝朝日 1-4-33

**開山1460年の歴史を刻む寺**  
本寺は阿彌陀如来。開山は寛正元年(1460)。山門近くには位置する庚申像は、長らく人の信仰を集め、鼻も口も分らないほど顔がすり減っている。境内には1一重帷子を安置する観音堂などがある。

### 2 錫杖寺

しやくじやうじ＝本町 2-4-37

**徳川將軍日光社参の頃の御休所として**  
徳川將軍日光社参の頃の御休所として指定され、2代將軍秀忠以降、歴代の將軍が参詣を取った記録が残っている。裏の御社の使用が済され、瓦など境内に三葉葉を見ることが出来る。晩年に川口で道ごした最後の大奥華頭年寄・瀧山と、その伯母の墓もある。

## 主な見所をチェック!



# 日光御成道 観光ルートマップ

人あゆみ 街が息づく 御成道  
歩いて楽しい歴史の道